

研究課題番号	4-2006
研究課題名	侵略的外来哺乳類の防除政策決定プロセスのための対策技術の高度化
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	沖縄大学
研究代表者名	城ヶ原 貴通

## 1. 委員の指摘及び提言概要

網羅的な外来種対策研究であり、侵略的外来哺乳類対策上重要な種について取組を促進させる研究と評価でき、外来種の対策方法への明確なシステムの提示が期待される。一部には自治体の要請に対応した成果が得られている。繁殖につながる性判別マーカの抽出ができたことは、次への進展が期待できる。特に、世界自然遺産に登録された奄美大島と沖縄島北部のマングース対策に関して有益な成果が期待される。なお、マングース根絶はモデルでは確認できず、数年間にわたる頭数確認が必要で、時間を要することが指摘された。また、アライグマの根絶は技術的には難しく、対象地域への新たな侵入防止といった観点が必要ではないかとの指摘があった。

## 2. 採点結果

評価ランク：A